

透水性高強度ポーラスコンクリート

 **DRY TECH** ドライテック

外構舗装仕上材

透水性 [無機] 環境配慮型舗装材



## 透水性舗装仕上材ドライテック。

ドライテックは高い透水性を持ちながら表面強度・曲げ強度に優れたポーラス構造の高強度コンクリート。

ドライテックの構造材ポーラスコンクリートは、内部に連続的な空隙を持ち、透水性・通気性・保水性・吸音性・衝撃吸収性に優れる機能性コンクリートです。

### 快適・安全な環境をつくる

毎年のようにみられる集中豪雨・台風による河川の氾濫、道路の冠水。その一つの原因として、従来のアスファルト舗装、コンクリート舗装や各種建築物による地表面の遮水が考えられます。高透水性のドライテックを歩道・建物外構・駐車場などに使用することで、その優れた透水能力で雨水を地中へ浸透させ、排水設備への負担を軽減し、自然災害に強い環境整備に貢献します。また、ドライテックの保水性・通気性はヒートアイランド現象を防止して快適な都市空間づくりに寄与します。

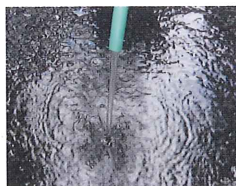
### 従来コンクリートに変わる画期的舗装仕上材

ドライテックのポーラス構造がコンクリート舗装の透水性を実現。組成分の無機バインダーは十分な強度と耐久性を発揮し、歩道・駐車場の使用にも対応します。

- ▼ 特殊骨材や樹脂系特殊バインダーを必要としないので、生コンプラントで簡便に製造し、速やかに現場への配送が可能です。
- ▼ 排水処理の計画・設備が不要で、均し工程も1回ですむため、作業性に優れ経費が大幅に削減されます。
- ▼ 従来のコンクリート舗装に比べて配筋が不要で、水勾配の計画の必要もありません。
- ▼ 1㎡から配送可能で、小規模な駐車場から大規模の舗装施設の施工まで対応します。

### 透水性石材・タイル・砂利敷き仕上

下地を従来のコンクリートからドライテックにすることで、通常のタイル・石材仕上も透水性の仕上げとなり、幅広い意匠性の透水性舗装仕上げを実現します。また、砂利敷き仕上の下地に使用することで、玉石や砂利が土へ埋没することがないため、砂利の補充期間が長くなりコスト削減にもつながります。



アスファルト



ドライテック下地/タイル仕上



ドライテック/ダイレクト仕上

#### ▼ 透水性比較

ドライテックを下地に使用した舗装仕上げは、自然に雨水を地中に浸透、地表面の遮水を防ぎ自然環境を護ります。ゲリラ豪雨に匹敵するホースからの大量の水を透水しています。



透水

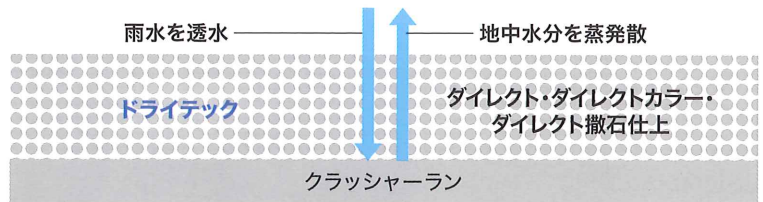
保水

放出機能

## 各種仕上げの施工システム

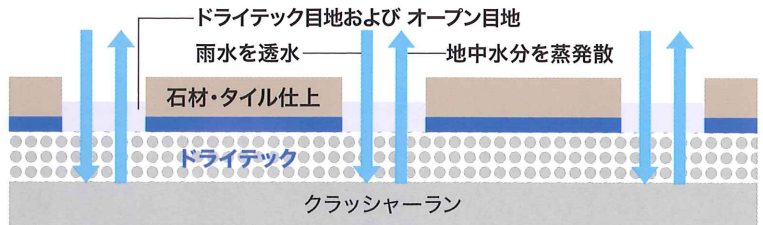
### ダイレクト・ダイレクトカラー・ダイレクト撒石仕上

適用用途	ドライテック (mm厚)	クラッシャーラン (mm厚)
①	100	100
②	100~150	100~150



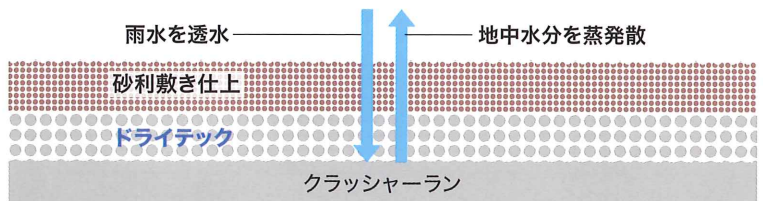
### 石材・タイル仕上

適用用途	ドライテック (mm厚)	クラッシャーラン (mm厚)
①	80~100	100
②	100~150	100~150



### 砂利敷き仕上

適用用途	ドライテック (mm厚)	クラッシャーラン (mm厚)
①	80~100	100
②	100~150	100~150



- ①適用用途: 歩行用 歩道用通路・店舗・住宅エントランス・広場・公園・マンションピロティ  
 ②適用用途: 歩道・駐車場用 車道に隣接する歩道・店舗駐車場

## ドライテックの特長

### 高強度

- ドライテックは、透水性舗装材に求められる空隙を多く持つポーラス構造でありながら、表面強度・曲げ強度に優れ、コンクリート舗装材として十分な強度を長期的に保持します。

### 透水・保水性能

- ドライテックは内部にポーラス構造と呼ばれる多くの空隙があり、雨水を透水・保水しながら地中へ浸透させるため、水溜まりができたり雨水が下水に集中するのを防ぎ、地下水系への影響を最小限に抑え安定化させます。

### 耐久性

- 透水性ポーラスコンクリートドライテックは、無機バインダーを使用することにより、長期間、強度を維持し、透水性アスファルトなどで発生する修復不可能な空隙のつぶれなどを生じることがありません。

### 快適性

- 店舗・住宅のエントランス・駐車場など雨の日も水溜まりがなく、お客様に快適に歩行して頂けます。

### 意匠仕上

- ダイレクト仕上、ダイレクトカラー仕上、ダイレクト撒石仕上、石材仕上、タイル仕上など様々な景観に応じた意匠を提供することができます。

### 経済性

- 施工に際しては特別な設備・機械が必要なく、コンクリート舗装と同程度のコストを実現しました。
- 特殊骨材・樹脂系特殊バインダーを使用しないため、特別な設備も必要なく生コンプラントで簡易に製造、配送することができます。

### 環境性

[自然環境の保全]

- 雨水が循環するため地中構造が自然状態に近く、地下水の枯渇抑制、地盤沈下の防止、生態系の保護など自然環境保全に効果を発揮します。

[ヒートアイランド現象の抑制]

- 透水機能で保水された地中水分と通気機能による地中からの水分蒸散は、直射日光による路面温度の上昇を抑え、ヒートアイランド現象を抑制します。

### 作業性

[材料製造の容易性・利便性]

- ドライテックは、高品質な透水性舗装材を生コンプラントで製造することができ、住宅などの小規模の現場はもとより大規模な透水性コンクリート舗装現場においても施工できます。製造方法、施工方法は施工面積や規模により異なりますが、透水性舗装材の製造・施工において特別な設備・施工機材は必要としません。

- 無機主体の水系タイプで、作業時に取り扱いやすく、安全性にも優れています。



# 多様なニーズに対応する透水性意匠仕上

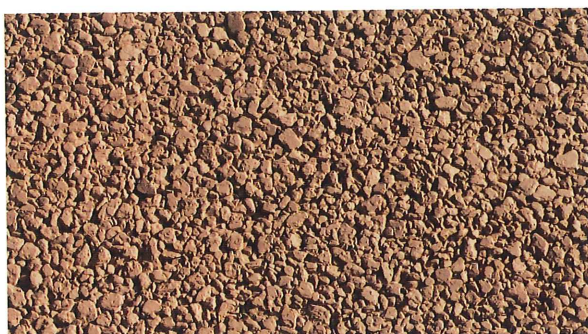
## ▼ドライテック仕上(ドライテックをそのまま仕上材にする場合)



ダイレクト仕上



ダイレクト撒石仕上



ダイレクトカラー仕上(レミーブラウン)

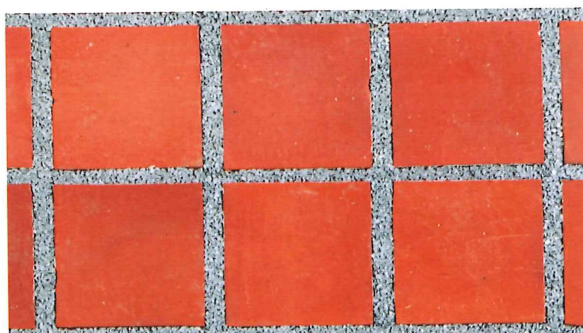
### ◆ダイレクトカラー仕上の基本カラーは8色◆



## ▼ドライテック下地仕上(ドライテックを下地材にする場合)



石材仕上(ミカゲ石)



タイル仕上



砂利敷き仕上(淡路)※



砂利敷き仕上(白ミカゲ)※



砂利敷き仕上(ポルフィド)※

※仕上は砂利などの各種石材をドライテックの上に敷いた仕上げです。

- 上記以外の石材・タイル仕上げにも対応します。各種仕上げの詳細につきましては、弊社営業担当にお問い合わせください。
- 商品の写真・基本カラーは印刷のため、色調等実物とは多少異なります。



## 透水性環境舗装材比較表

試験項目	ドライテック	従来品透水性舗装材(有機系)
耐候・耐久性	無機材のため長期耐久性に優れる。 無機バインダーの結合により、気温の変化に関わらず、ポラス構造を維持。	樹脂の劣化による耐久性の低下。 気温の上昇により、バインダー軟化溶融が原因とされる空隙つぶれ(目詰まり)が発生する。空隙つぶれは修復することができず、透水機能が著しく低下する。
舗装材の保水性	無機材のため、無機バインダー無機骨材が保水機能を発揮、舗装材自体に保水機能を持たせることが可能。	保水性骨材を用いても骨材表面が樹脂皮膜で覆われてしまうので舗装材での保水は不可能。
施工時の臭気	無機系の材料なので、ほぼ無臭。	打設混練時、溶剤臭あり(VOCガス発生)。
施工性・経済性	生コンプラントで製造でき、小さな現場もコストパフォーマンスに優れる。	打設厚を厚くすることにより強度をカバー。大がかりな設備・機材が必要で小さな現場はコストアップ。

## 機能試験データ

試験項目	管理基準	試験値	判定
空隙率	15%以上	20%	合格
曲げ強度(4W)	2.50(N/mm <sup>2</sup> )以上	2.8(N/mm <sup>2</sup> )	合格

## 施工手順/ ダイレクト仕上

①生コン車が現場に到着したら、水溶性の袋に入ったF材(特殊混和材)を生コン車に投入し5分程度ミキサーを高速回転してください。水量が不十分な場合は、注水して調整してください。  
※プラントでF材(特殊混和材)を入れる場合は、注水調整のみ行ってください。

②生コン車より受け取り



③一輪車運搬



④レーキ敷き均し



⑤プレートができない転圧箇所(隅々)を人力タンパで転圧し、他はプレート転圧で平坦性を取りながら、プレートマークも消していき、十分にプレート転圧を行ってください。

⑥プレート転圧



⑦転圧完了



⑧仕上り



※気温が高く表面が乾燥しやすい場合は、表面が湿る程度にシャワーなどで水を散水しながら施工してください。過剰の散水は飛散や色ムラの原因になるので行わないでください。

## 施工上の注意

- 施工前に必ず施工仕様書で詳細を確認してください。
- 気温5℃以下での施工は避けてください。
- 外装では、降雨および降雨が予想される場合の施工は避けてください。  
(夏場で24時間程度、冬場で72時間程度、雨等が施工面に当たらないような雨養生が必要です。)

## ご注文に際しての 注意事項

- 意匠仕上げの写真は実物とは異なる場合があります。ご選定の際は商品見本で確認してください。
- 施工仕様書等、詳細につきましては弊社営業担当にお問い合わせください。



多彩な建築表現、原点は素材です。

FUKKO

株式会社 フッコ

<http://www.fukko-japan.com>

本社・工場 〒406-0812 山梨県笛吹市御坂町下黒駒1611 金川工業団地内  
TEL.055-262-2111 FAX.055-262-9101

営業所 東京 TEL.03-5738-1771 FAX.03-5738-1776  
甲府 TEL.055-262-9114 FAX.055-262-9101

販売代理店

金沢生コンクリート株式会社

〒920-0211

石川県金沢市湊4丁目52番地

TEL:076-237-4175

FAX:076-237-4178